

南部地域活性化基金の見直しについて

令和 2 年 2 月 19 日

南部地域活性化局

1 南部地域活性化基金によるこれまでの取組

南部地域活性化基金（以下「基金」といいます。）は、平成 24 年度に造成され、南部地域の複数市町が連携して行う働く場の確保や定住促進の取組（延べ 81 事業、約 1 億 3,969 万円）を支援してきました。

【直近 4 か年の主な取組】

平成 28 年度 ～ 令和元年度	第一次産業の担い手育成、地域学習（高校生等）、 集客交流（バイク旅、アウトドア等）、ふるさと納税、 移住・定住促進（U I ターン、都市との交流） など
------------------------	--

2 基金の見直し

市町や県議会の意見も反映して、次のとおり基金の見直しを行いました。

これまでの南部地域の複数市町による連携取組に加え、令和 2 年度からは南部地域外の市町、民間企業等と連携した南部地域における働く場の確保や定住促進の取組で南部地域の他市町に波及効果が期待できる事業も支援対象とします。

(1) 働く場の確保及び定住促進に資する事業

これまでの働く場の確保や定住促進の取組に加え、新たな働く場を創出する開発プロジェクト等やこれを契機に新たに事業化を図るための初期的経費を支援します。また、若者の地元就職を促進する事業を支援します。

(2) 家族が安心して暮らせるための事業

地域の課題に応じた交通対策等の生活サービス提供やこれらを地域で運営する組織形成、担い手育成といった市町のモデル的な事業を支援します。

「生活サービス」については、医療、防災分野その他高度の専門性を有する分野を除くものとし、住民の日々の生活の維持・改善に資する分野に注力するものとします。

3 令和 2 年度の基金による主な支援予定事業

(1) 民間開発プロジェクトに伴う雇用創出支援事業

- ・おわせ SEA モデル協議会が実施する実証実験やマーケティング調査等（尾鷲市）
- ・マリOTTホテル進出を契機としたインバウンド等の来訪者受入整備等（御浜町、紀宝町、熊野市）

(2) 暮らしやすい地域づくり支援事業

- ・公共交通空白地域における新交通システム（デマンド交通）実証事業の評価検証（紀北町）
- ・中山間地域における society5.0 時代に対応した農業基盤整備事業計画に向けた高速通信網等を活用した生活サービスの提供検討調査（御浜町）